

政治資金残りあと

183,819円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高 217,138円
印刷代（ビラ印刷代） 20,060円
交通費（駐車場、燃料代） 14,550円
携帯電話代 4,609円
勉強会費 -900円
寄付（ムロフシ様） -5,000円
合計 00/7/2～00/7/29 33,319円
寄付は、さがみ信用金庫 タイム・プラス出張所
普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで！

市政を考える

月刊武松

発行日

00/7/31

第14号

たけまつ

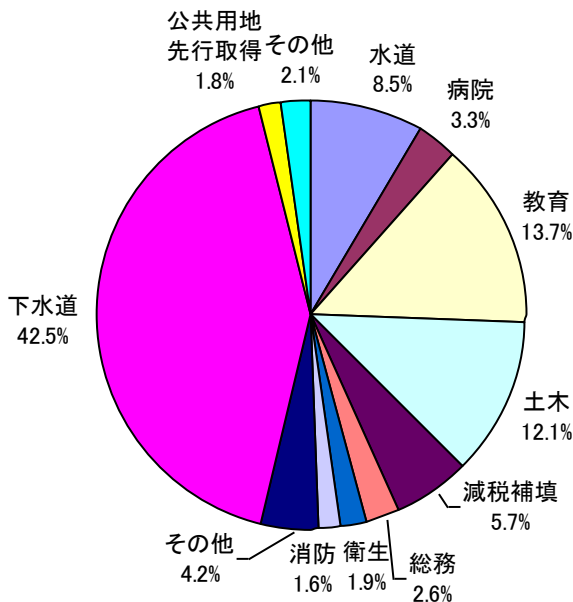
ただし

頒布責任者： 武松 忠

武松政策研究会

借金の中身！？

長期借入金の状況（平成12年3月31現在）



■借金残高1362億5800万円！！

長期借入金（借金）残高は、全会計で1362億5800万円、市民一人当たり約68万円になっています。中でも下水道債は、578億5900万円と総額の42.5%を占めています。下水道工事は、今後市街化区域の中でも周辺部に工事が集中するため、投資効率が極端に悪くなります。

■なぜ借金をしなければならないか？

借金が発生するのは、例えば下水道のように国庫補助がある事業の場合、事業規模に応じた借金をしなければならない決まりになっています。そしてその借金は、**年据え置き・期間**年間・利率**.%で返済と決められており、基本的に借換や繰り上げ返済のできないようになっています。

■減税補填債（所得税減税の裏側）

所得税減税で減少した税収を借金で補ったもので、2年間で78億円もの借金を作りました。

会計	項目	金額（億円）	内容
企業会計	水道債	116.21	上水道の工事や施設建設等
↑	病院債	44.16	市立病院の建設や設備購入等
一般会計	教育債	186.88	公立学校の建設、耐震対策や設備購入等
↑	土木債	165.21	道路、公園、河川等の工事等
↑	減税補填債	78.27	所得税減税に伴う税収不足の補填
↑	総務債	35.65	本庁舎建設、マロニエ建設、ネットワーク関係等
↑	衛生債	25.86	焼却場ダイオキシン対策、斎場等
↑	消防債	21.50	消防本部建設、設備購入等
↑	その他	56.71	商工業振興、福祉、公営住宅建設
特別会計	下水道債	578.59	下水道の工事、処理場設備
↑	公共用地先行取得債	24.67	道路や公共施設建設用地の先行取得
↑	その他	28.87	競輪、国保、天守閣、公設市場等
	合計	1362.58	

歴史を振り返って

小田原町の時代から、歴史を振り返ると問題点が見えてくる。

■自然災害対策

高潮被害による2kmの防波堤の設置や関東大震災からの復興に多額の予算が費やされた。

■小田原駅の設置

旧東海道沿いの商店街から、駅設置に伴う駅前商店街の誕生と私鉄乗り入れによる急激な商圈の拡大が追い風となって27もの商店街ができた。現在は移動手段が変わり、商圈が小さくなっているにも関わらず、商店街はそのままである。

■戦災復興

終戦前日に空襲を受けたことにより、戦災復興事業として競輪開催が認められる。収益は、現在まで800億円以上で公共施設整備に大きく貢献した。

■校舎、公営住宅の鉄筋コンクリート化

木造校舎の火災が相次いだことや、住宅対策の一環として、木造校舎や木造市営住宅を中高層の鉄筋コンクリート化した。

そのため、道路網整備が遅れ、20万人都市で上下線2車線は1号線山王橋から西の約3kmしかない。特に南北を通す道路の整備が遅れた。

■工場進出と事業転換

戦後、下府中から国府津にかけて工場進出が相次いだ。産業構造の急速な変化に伴い繊維や機械部品工場は、貸店舗事業へ転換した。川東地区の大型店が全て工業地域にあるのはこのためである。

- ・都市計画の最大の問題点は、南北を通す道路の未整備である。
- ・災害対策については、耐震対策や緊急医療のネットワーク化が必要である。
- ・今後、校舎や公営住宅の建替えが問題となる。

The Voice 今までに頂いたご意見から

有料道路の無料化は

私は、去年、小田原に引っ越して来ましたが真鶴道路の200円の方を無料にならないかなと思っています。理由は、お金を払いたくないので多くの車が旧道の135号線に行ってカーブが多く細い道をスピードを出して走り沿道の住民に迷惑をかけていると思います。

また、真鶴や湯河原の住民が買い物などに行きにくいと思います。うわさでは、真鶴や湯河原の住民は熱函道路が無料になったため静岡の函南に週末買い物に行く人もいるそうです。真鶴道路が無料になったら小田原市に少し経済効果が生まれませんか？

神奈川県や道路公団など反対があって無理と思いますが日頃思っていることなのでメールしました。

真鶴道路だけではなく、西湘バイパスや小田原厚木道路は、通過交通の処理や遠隔地への移動に非常に重要な役目を果たしています。特に西湘バイパスは、通行止めになると小田原市内の幹線道路が全面的に渋滞してしまいます。（西湘バイパスは、100円稼ぐのに114円かかる赤字路線）

次に有料道路（日本道路公団）について解説いたします。

- ・通行料は、どこが決定しているか？ → 建設省であり道路公団に決定権はありません。
- ・道路建設の財源は？ → 重量税や郵便貯金債で特に郵便貯金債の場合、金利が高く、（例えば、40年返済の年利6.5%等）公団経営を大変なものにしています。これも繰上げ返済や借換をすることができません。
- ・市は何ができるか？ → 基本的には要望するしかできません。小沢市長も積極的に有料道路懇談会に出席し、「有料化が渋滞緩和に役立っていない。」等力説しています。
- ・夢？ → 道路を買い取り、ICの設置や低料金化など市民のための道路にする。（武松）

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

どなたでもお気軽に参加下さい。

テーマ：「学校と地域」学校と地域の連携について考えてみましょう。

日時：8月19日（土） 18:00～20:00

場所：国際交流ラウンジ（栄町駐車場3階）

参加費：100円 出欠席の連絡は、不要です。当日、直接現地にきて下さい。

終了後、懇親会（実費3000円程度）を行います。

